

コミュニティ事業紹介カード


番号	1	団体名	栗熊コミュニティ	代表者	松岡 繁
事業名	クリックマンシリーズでまちを元気に		事業費	約100万円	
事業の目的	栗熊校区は、農業が産業の中心で、少子高齢化が進行している。このような地域の実態を踏まえ、まちを活性化し、住み良いまちづくりのためには、人と人とのつながりをつくり、絆を強めていくことが大切だと思い、クリックマンシリーズの企画を目的とし取り組んでいる。				
事業の概要	平成25年度親しみやすいロゴマークが選ばれました。翌26年度にロゴマークの名前を募集、マスコットキャラクターを作成し、コミュニティ祭りでお披露目。27年度には、コミュニティ応援ソング「みんなのクリックマン」を作成、レコーディング。振り付けを行った「クリックマンダンス」を発表し、DVDを作成しました。「栗熊の子どもたちは栗熊の大人で守ろう」とクリックマン見守り隊を結成とともに防犯看板を7か所に設置して、子どもたちの安全を見守っています。28年度は、マスコットキャラクターやCD、DVDを活用して、各種イベントの参加や、クリックマン見守り隊による子どもたちの安全・防犯活動に努めています。				
この事業を企画・実施した人	栗熊コミュニティ総務部役員・環境安全部員（青パト部・散歩立哨部・農作業部）				
苦労した点	栗熊小学校の児童数は現在125人で、散歩立哨部員数は約50人余りで3ルートをこなしている状況であり、校区が広範囲である関係から週2回週3回、週4回の隊員もおり、地区によっては人数が不足していて、まだ、約20人くらい部員を募集しているが、人員の確保が難しい。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【見守り隊 大パレード】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【散歩立哨部】</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>【青パト部】</p> </div>				

コミュニティ事業紹介カード


番号	2	団体名	栗熊コミュニティ	代表者	松岡 繁
事業名	栗熊コミュニティまちづくり計画Ⅱ		事業費	310,000円	
事業の目的	<p>平成22年9月に第Ⅰ期まちづくり計画がスタートし、栗熊のまちづくりを進めてまいりました。しかし、栗熊地区も人口減少と少子高齢化が進み、また、行政の広域化により、公共サービスの「公」から「私」へのシフトが強まるなど、私たちを取り巻く状況が大きく変わろうとしており、コミュニティ活動の重要性が一層高まっています。こうした中、私達が暮らすまちを、住民が主体となって自ら考え行動し、住みよいまちを作ることを目的とする。</p>				
事業の概要	<p>第Ⅰ期まちづくり計画を元に栗熊のまちづくりはどうあるべきか、どうすればまちが元気になるか、住民の皆様の意見や要望を把握するため、全世帯を対象にまちづくりアンケートを実施し、栗熊のまちのイメージにふさわしいものは「安心して暮らせるまち」と答えた人が最も多く、第Ⅱ期まちづくり計画のシンボルテーマとしたところです。「まちづくりにおいて大切にしていきたいことは」の問いに対しては、「人と人のつながり」が一位、次いで「住民同士の助け合い」が二位となっています。第Ⅱ期まちづくり計画では、これらのアンケート調査の結果を大切に、まちづくりの目標や実行計画を策定しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	栗熊コミュニティ総務部役員・第Ⅱ期まちづくり計画策定委員				
苦勞した点	・栗熊コミュニティまちづくり計画Ⅱとしてまとめる上で、編集や活字化、文章校正するのに大変苦勞が多かった。				
活動状況	<p>平成28年4月24日 栗熊コミュニティ総会にて、計画策定承認 5月27日 第1回総務部会～ 2月1日 第8回総務部会、7月30日 自治会長で計画説明、アンケート調査依頼・配布、12月27日 第1回まちづくり計画策定委員会～2月28日 第3回まちづくり計画策定委員会、平成29年3月に発行した「栗熊コミュニティまちづくり計画Ⅱ」栗熊地区内の自治会全世帯のほか、綾歌中学校、栗熊小学校、栗熊保育所などの関係機関に配布しました。</p>				




コミュニティ事業紹介カード

番号	1	団体名	岡田コミュニティ	代表者	渡辺 佳廣
事業名	住み続けたいまちおかだプロジェクト推進事業 「だれでもカフェ事業」		事業費	約 12 万円	
事業の目的	地域住民たちが気軽に立ち寄れ、交流および親睦を深める場を創設するとともに、屋外へ出掛けることも促進し、健康増進にもつなげることを目的とする。				
事業の概要	岡田コミュニティセンターの図書室を活用し、「だれでもカフェ」を設置。利用に際しての制限は設けないことから、文字通りだれでもご利用いただけるカフェとする。開設は、毎週金曜日 9 時から 12 時までとし、利用者は 1 回につき 100 円を支払って利用する。カフェにかかる費用は、コミュニティ予算およびカフェ利用料をもって充てる。カフェには、コーヒーマシンを設置し、茶菓子も用意する。管理には、当番制により担当が常駐することによって、利用者の話相手にもなることにより利用者が快適に過ごせるように配慮する。				
この事業を企画・実施した人	岡田コミュニティ総務部・福祉部および民生委員				
苦労した点	<p>新規事業（平成 28 年 6 月～）なので、周知を図るための PR に時間を要した。</p> <p>何も無いところから始めるので、準備物等に気を配る必要があった。</p> <p>当番はボランティアなので、継続的にこなせるかどうか不安点があったことから綿密な計画が必要であった。</p> <p>図書室を利用しており、スペースに制約があることから、利用者が多いときにはロビーにテーブルなどを用意しなければいけないことがある。</p>				
活動状況	<p>毎週金曜日 9 時から 12 時（6 月 17 日開始）</p> <p>利用者実績約 1080 人（平成 28 年度）</p>				
					


コミュニティ事業紹介カード

番号	2	団体名	岡田コミュニティ	代表者	渡辺 佳廣
事業名	住み続けたいまちおかだプロジェクト推進事業 「おかだキラキラ夏まつり事業」		事業費	約 50 万円	
事業の目的	地域住民たちが一堂に会し、交流および親睦を深める場としてのイベントを実施することにより、地域としての一体感の醸成を促すとともに、屋外へ出掛けることも促進し、健康増進にもつなげることを目的とする。				
事業の概要	岡田コミュニティセンターの施設内および駐車場等を利用し、夏の風物詩でもある夏まつりを開催する。従前は、綾歌地域で夏まつりを行っていたが、無くなったことにより、地域住民の一体感が薄れていることから、これの解消にもつなげるものとする。園児などによる作品の展示をするほか、各種出店やゲーム大会など様々な催しにより、参加者の満足感を高揚させる。				
この事業を企画・実施した人	岡田コミュニティ特別委員会（子ども会・PTA） おかだキラキラ夏まつり実行委員会				
苦労した点	各年で実施しているコミュニティまつりとは違う新規事業ということで、ノウハウも無く外部との調整などに戸惑うところが多い。実績が無いことから、参加数が全くつかめないのので、準備数量等の検討に戸惑った。 新規事業なので物品等もゼロからのスタートで、買い揃える必要があった。				
活動状況	参加者約 1500 人 				



コミュニティ事業紹介カード

番号	1	団体名	富熊コミュニティ	代表者	杉本 壽文
事業名	児童農業体験 さつま芋をつくろう			事業費	46,000円
事業の目的	児童に自分たちで栽培して収穫したという達成感を味わわせるとともに、食べ物を大切にすることを育て、農業の果たしている役割を学ばせる。また、農業体験活動を地域との関連性を持たせることによって、地域への愛着を育むことを目的としている。				
事業の概要	① 小学校近くに田を有する農家さんのご好意により、小学2年生児童とコミュニティ役員が芋の植え付けから収穫までをおこなう。② 苗の植え付けから栽培が始まり、秋には大きな実をつけることを話し、児童のやる気を引き起こす。③ さつま芋は、葉も茎も食べられるので多くの飢饉を救ってきたことを学ぶ。*芋の植え付けでは、総務部の方々が小学生に植え方の指導をおこなっている。				
この事業を企画・実施した人	総務部				
苦労した点	児童たちは、畑の準備から収穫まで全ての作業を体験することができないので、生育過程などを説明し単なる作業で終わらないよう留意している。				
活動状況	<p>4月 協力農家さんへの依頼、学校との打ち合わせ</p> <p>5月 協力農家さんによる耕起と植え付け準備</p> <p>5月 富熊小学校2年生児童と一緒に植え付け</p> <p>7月～9月 児童と一緒に草抜き（3回程度）</p> <p>10月 児童と一緒に収穫し、児童は学校で調理</p> <p>11月 富熊コミュニティまつりにおいて焼き芋にして販売</p>				
			<p>*この事業を通して、児童個人に対する様々な教育効果だけでなく、地域への意識や愛着などの効果がみられ、学校と地域をつなぎ学校運営に対する地域の理解を醸成する効果が生まれている。子どもたちは、さつま芋を食べるという期待以上に収穫の喜びにあふれており満足感を得ているようである。</p>		

コミュニティ事業紹介カード

番号	2	団体名	富熊コミュニティ	代表者	杉本 壽文
事業名	小学校と連携した防災訓練			事業費	98,000円
事業の目的	学校と地域住民が災害発生時にスムーズな連携の下に活動できる体制づくりをおこなうとともに、富熊地区における災害対策の実情を広く知らせ被災時や被災前における個人の取るべき対応方法についての基礎知識を身につけることを目的として実施する。				
事業の概要	<p>学校・家庭・地域・消防団の連携による、小学生や地域住民へのより身近で具体的な防災教育（講習）・防災訓練を実施</p> <p>●訓練参加者 自主防災会・小学校児童・保護者・教員・自治会参加者 消防団</p> <p>●訓練内容 地域（避難訓練・避難者申告・ロープワーク訓練・消火訓練・非常食試食） 学校（避難訓練・児童引渡し訓練） 自主防災会（避難者受付訓練・避難所設営訓練）</p>				
この事業を企画・実施した人			自主防災会		
苦労した点	災害のない地域において、住民の防災意識をどのように高めていくのか毎回苦労している。				
活動状況	<p>7：30～8：00 危険箇所を確認しながら親子で学校へ避難 自治会会員は危険箇所を確認しながら学校へ避難</p> <p>8：00～ 児童は、学年毎に防災に関する学習</p> <p>8：50～ 自治会会員は、防災士による「防災講演会」</p> <p>9：30～ 〈地震発生〉児童は、身を守る行動と校庭への避難訓練</p> <p>9：45～ 学校は児童を保護者への引渡し訓練</p> <p>10：00～ 参加者を地域ごと4グループに分けての訓練</p> <p>・ロープワーク訓練 ・担架搬送訓練・消火訓練・非常食の試食</p>				
			<p>*学校と一緒に防災訓練に取り組むことにより、若い方（小学生の保護者）の参加を得ることができ、自治会（高齢者層）との「お互い様」の関係を築くことにより地域の防災力を高めることができるものと考えている。</p>		

コミュニティ事業紹介カード

番号	1	団体名	飯山南コミュニティ	代表者	秦 勉
事業名	法の郷健康づくり推進事業			事業費	230万円
事業の目的	<p>法の郷第2次まちづくり計画に掲げるアクションプラン『みんないきいき健康と福祉のまちづくり』の実践活動として、生涯にわたって自ら健康づくりに取り組み、稔り豊かな人生を送れるよう、健康づくりへの取り組みと、その輪を広げることを目的としている。</p> <p>＜長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業補助＞</p>				
事業の概要	<p>① がん検診の実施②健康チャレンジの開催③健康カレンダー作成④講演会・シンポジウム開催⑤健康料理教室の拡充</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・法の郷健康づくり推進委員会（飯山南コミュニティ協議会を構成する5部会から選出された委員と自治会役員で組織化）・法の郷健康ひろめ隊（各自治会長と推進委員）</p>				
苦勞した点	<p>健康づくり推進のための資料（法の郷健康だより広報2号・健康チャレンジ関係PR紙、チェックカード、ウォーキングガイドブック、ウォーキングコース14コース図等）がたくさんあったため、自治会長への周知、理解が得られにくかった。</p> <p>小学校・保育所保護者（自治会未加入多数）への参加を呼びかけたが、反応がいま一つであった。しかし、小学校では児童の「歩いて登校強調週間」を設定して、冬期に取り組みをいただき、健康づくり推進運動を高めることができた。</p>				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>(啓発のぼり)</p>  <p>(健康チャレンジ開講式)</p> </div>				

コミュニティ事業紹介カード


番号	2	団体名	飯山南コミュニティ	代表者	秦 勉
事業名	防災活動			事業費	20万円
事業の目的	法の郷第2次まちづくり計画に掲げるアクションプラン『安全安心の暮らしに取り組むまちづくり』の実践活動として、特に地域防災行動の強化、浸透に取り組んでいる。				
事業の概要	① 避難行動要支援者避難訓練②防災訓練③南校区防災訓練 ④3回の訓練とも、飯山高校看護科生による、止血、上肢下肢骨折時の処置指導。訓練者の誘導は、飯山高校総合学科生のご協力を得ている。				
この事業を企画・実施した人	・飯山南自主防災会 ・自治会自主防災会 ・婦人防火クラブ ・コミュニティ保健福祉部（民生委員・児童委員） ・コミュニティ防災部、市消防団第17分団 ・飯山高校総合学科生、看護科生 ・飯山南小学校（児童・保護者・教員）				
苦労した点	自治会自主防災組織づくりは、3割程度しか出来ていないため、避難行動要支援者訓練参加自治会が限定されてくる。南小就学児童保護者の自治会加入率は3割程度で、防災訓練の機会に自治会組織づくりの必要性について啓発したが、効果の程はなかなか難しい				
活動状況	<p>(避難行動要支援者車いす避難)</p>  <p>(油火災消火訓練)</p>  <p>(飯高看護科生による傷病手当)</p> 				



コミュニティ事業紹介カード

番号	3	団体名	飯山南コミュニティ	代表者	秦 勉
事業名	生涯学習の推進		事業費	7万円	
事業の目的	<p>法の郷第2次まちづくり計画に掲げるアクションプラン『学習で感動を呼び、文化を育てるまちづくり』の実践活動として、豊かな心を育むと共に、人々の交流と地域の活性化に役立て、生涯学習で得た知識を地域に還元できる仕組みと、自らの喜びが感じられる生涯学習社会を構築することを目的としている。</p>				
事業の概要	<p>① 法の郷子ども茶会（飯山南茶道部員が講師となり、茶道を通じて日本の伝統文化、礼儀作法を受け継いでもらおうとの取り組み。小学校1年から6年生を対象に、毎月第2・4土曜日に茶会を開催し、H28年度で3年目を迎えた。28年度参加者25人）</p> <p>②法の郷長寿セミナー（生涯学習講座への女性の参加が多い中で、男性にもいろいろな講座に参加して欲しく、地域の方や専門分野の講師を招いた講演や、野外研修を盛り込んだ講座を、毎月1回第4木曜日に開催。）</p> <p>③地域いきいき講座（レクリエーションや文化鑑賞、野外研修など、コミュニティ主催の講座を、毎月1回第2金曜日に開催。）</p> <p>④健康ウォーク（地域交流と健康づくりを目的に、月1回第2日曜日に開催。）</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯山南茶道部。・飯山南コミュニティ協議会（文化育成部、体育部）</li> <li>・飯山南老人クラブ</li> </ul>				
苦勞した点	<p>地域いきいき講座他主活動参加者は、女性が主体で男性高齢者の学習の機会が得られなかったため、長寿セミナーをつくり計画立案を男性中心で企画した結果、参加者の半分以上が男性の参加者を得て学習に弾みがついた。4月開講のため、前年度末（3月20日）に受講者募集を行う等工夫をしている。</p>				
活動状況	<p style="text-align: right;">（法の郷子ども茶会）</p> 				

コミュニティ事業紹介カード

番号	1	団体名	飯山北コミュニティ	代表者	三好 守
事業名	学校支援ボランティア促進事業		事業費	150万円	
事業の目的	学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取り組みを有機的に組み合わせて、授業等における学習補助や教員の業務補助などの学校支援、様々な体験・交流活動等の地域教育支援、保護者等への学習機会の提供などの家庭教育支援等、様々な教育支援活動を行うことを目的とする。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 登下校時見守り（毎日の見守り活動）</li> <li>② クリーン作戦（毎月1日の愛校日に清掃活動⇒茶話会）</li> <li>③ 水曜勉強会（月2回算数の補充学習指導）</li> <li>④ 読み聞かせ（毎週火木に絵本の読み聞かせ）</li> <li>⑤ 本の修理（毎月2回本の補修作業・新刊のラベル貼り）</li> <li>⑥ 新一年生補助（学校生活に慣れるまでの補助）</li> <li>⑦ ミシン学習補助（5年生の補助）</li> <li>⑧ ものづくり（年に数回、投てき板・ベンチ・ひな壇など）</li> <li>⑨ 環境整備（必要に応じて、運動場の芝生植え付けなど）</li> </ul>				
この事業を企画・実施した人	学校支援活動を実施していた幼・小・中学校のPTAと本の読み聞かせや児童見守り活動ボランティアグループが中心となり香川県教育委員会の指導のもと、コーディネーターを軸に中学校区を単位とした幅広い学校支援活動を展開している。				
苦労した点	事業展開の中心となる幼稚園・小学校・中学校との連携を図りながら事業計画を作成することができるコーディネーターや事務処理のできる人材の確保と事業推進に欠かせないボランティアの育成が大変な作業である。				
活動状況					

コミュニティ事業紹介カード

番号	2	団体名	飯山北コミュニティ	代表者	三好 守
事業名	認知症予防事業		事業費	50万円	
事業の目的	元気で過ごすため、認知症を予防することを目的とする。				
事業の概要	平成22年より集いの場「かがやきくらぶ桃の里」を開設。サポーターのキラキラさんと一緒に考えながら、みんなで集いの場を作っていくことで認知症予防に努めている。毎週約40名の方が参加し、お茶を飲んだり、体操したり、レクリエーションをしたりして、楽しい時間をすごしている。参加した皆さんが元気に楽しく学習し、認知症予防に効果を上げている。				
この事業を企画・実施した人	当初、丸亀市の地域包括支援センター職員により認知症予防事業の大切さを指導してもらい、北コミの保健福祉部会を中心に事業計画を作成し「かがやきくらぶ桃の里」を結成した。				
苦労した点	毎週、水曜日に開催しているので、中心となってくれる人材の確保と参加者に毎回喜んでもらえる活動内容を作成すること、そして、事業を支援してくれる人材の確保が大変である。				
活動状況	 				

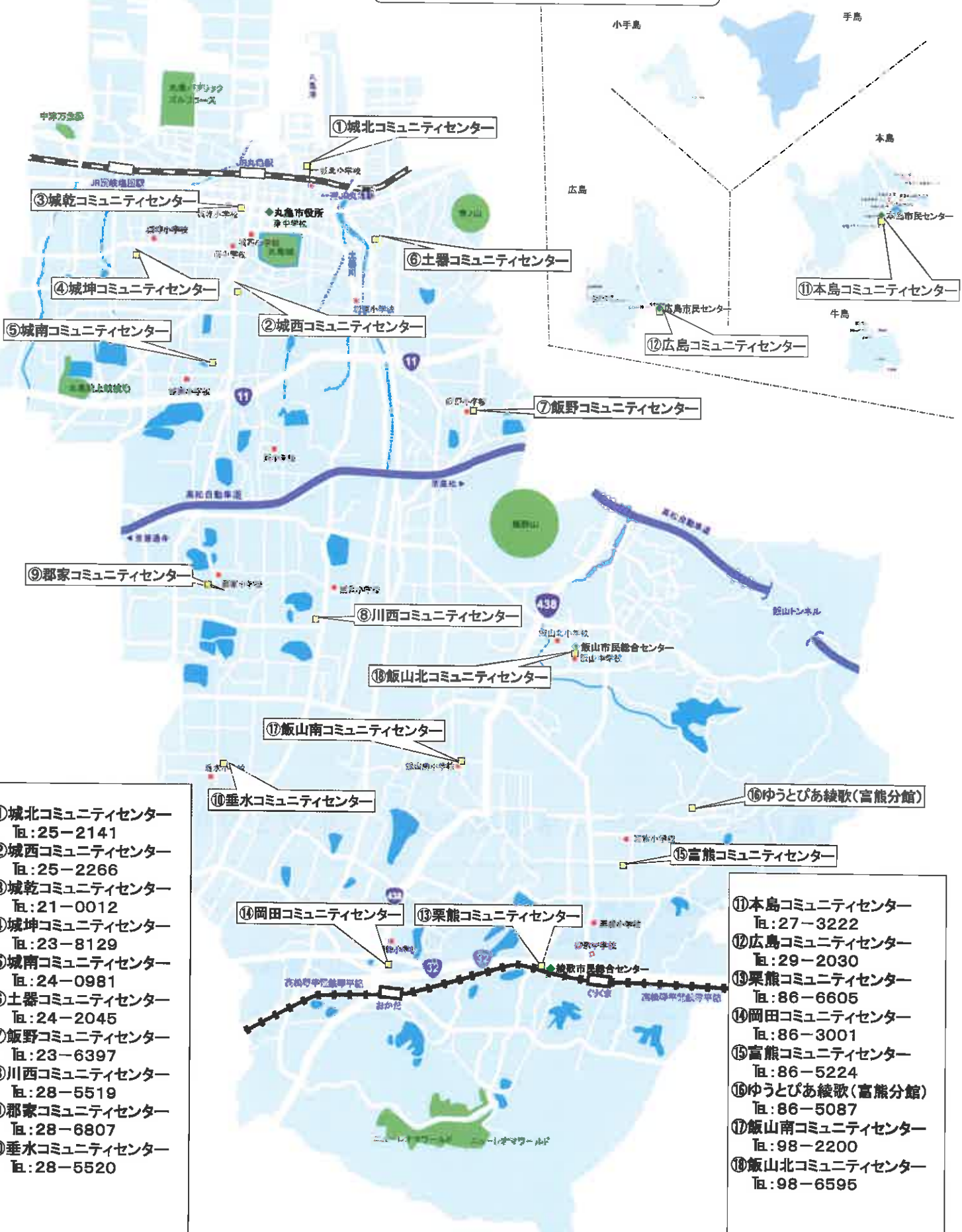
## 丸亀市コミュニティ協議会一覧

平成29年7月現在

地区	コミュニティセンター の連絡先	コミュニティ組織の名称	結成年月日
城北	城北コミュニティセンター 御供所町1-5-20	明倫の里 城北	平成10年5月10日
城西	城西コミュニティセンター 山北町722-1	天守閣のある町城西	平成9年4月1日
城乾	城乾コミュニティセンター 南条町34-28	港、ふれあいのまち城乾	平成10年5月9日
城坤	城坤コミュニティセンター 今津町283	ふれあい城坤	平成6年6月1日
城南	城南コミュニティセンター 山北町200-1	ふれ愛の町みなみをつくる会	平成元年6月1日
土器	土器コミュニティセンター 土器町東七丁目160	住みたくなるまち土器	平成7年3月19日
飯野	飯野コミュニティセンター 飯野町東分2334-2	飯野地区地域づくり推進協議会	昭和61年4月1日
川西	川西コミュニティセンター 川西町南428-1	川西地区地域づくり推進協議会	平成7年3月21日
郡家	郡家コミュニティセンター 郡家町814-1	郡家校区地域づくり推進協議会	平成7年1月8日
垂水	垂水コミュニティセンター 垂水町1344-1	やすらぎと生きがいのある町たるみをつくる会	平成5年6月1日
本島	本島コミュニティセンター 本島町泊506-1	本島地区地域づくり推進協議会	平成7年12月16日
広島	広島コミュニティセンター 広島町江の浦2-15	ふれ愛の町ひろしまをつくる会	平成6年12月21日
栗熊	栗熊コミュニティセンター 綾歌町栗熊西1638-1	栗熊コミュニティ	平成17年4月2日
岡田	岡田コミュニティセンター 綾歌町岡田下516-1	岡田コミュニティ	平成17年4月9日
富熊	富熊コミュニティセンター 綾歌町富熊1192-1	富熊校区コミュニティ協議会	平成17年4月27日
飯山南	飯山南コミュニティセンター 飯山町上法軍寺1167-5	飯山南コミュニティ協議会	平成18年3月12日
飯山北	飯山北コミュニティセンター 飯山町川原1112-5	飯山北地区コミュニティ推進協議会	平成18年3月12日

※城坤コミュニティセンターは、平成31年3月まで改築工事中で、仮事務所に移転中ですが郵便・連絡先は、上記のとおりです。

# コミュニティセンター位置図



- ①城北コミュニティセンター  
TEL: 25-2141
- ②城西コミュニティセンター  
TEL: 25-2266
- ③城乾コミュニティセンター  
TEL: 21-0012
- ④城坤コミュニティセンター  
TEL: 23-8129
- ⑤城南コミュニティセンター  
TEL: 24-0981
- ⑥土器コミュニティセンター  
TEL: 24-2045
- ⑦飯野コミュニティセンター  
TEL: 23-6397
- ⑧川西コミュニティセンター  
TEL: 28-5519
- ⑨郡家コミュニティセンター  
TEL: 28-6807
- ⑩垂水コミュニティセンター  
TEL: 28-5520

- ⑪本島コミュニティセンター  
TEL: 27-3222
- ⑫広島コミュニティセンター  
TEL: 29-2030
- ⑬栗熊コミュニティセンター  
TEL: 86-6605
- ⑭岡田コミュニティセンター  
TEL: 86-3001
- ⑮富熊コミュニティセンター  
TEL: 86-5224
- ⑯ゆうとびあ綾歌(富熊分館)  
TEL: 86-5087
- ⑰飯山南コミュニティセンター  
TEL: 98-2200
- ⑱飯山北コミュニティセンター  
TEL: 98-6595

丸亀市コミュニティ事業事例集      平成29年8月

この事例集は、丸亀市地域担当職員が各コミュニティとともに作成した「事業紹介カード」を編集したものです。

丸亀市生活環境部市民活動推進課